

抗体検査

抗体検査は一般的に過去の感染を調べる検査です。

ウイルスが体内に侵入するとそのウイルスに対して抗体が産生されます。ウイルス（抗原）は時間が経過すると消失するため、抗原を調べる抗原検査やウイルス遺伝子を調べる PCR 検査では昔感染しているかどうかの判断はできません。

一方、抗体は感染後時間が経過しても体内に存在するため、体内の抗体の有無を調べることで、そのウイルスに感染したかどうかを調べることができます。

当院では2種類の抗体検査を取り扱っています。

院内簡易キットで行う抗体検査はロシュ・ダイアグノスティックス株式会社「SARS-CoV-2 Rapid Antibody Test RUO」を用いた IgG,IgM を検出する抗体検査です。

指先などから採取した少量（20 μ L）の血液を用いて血中の新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）の IgG 抗体、IgM 抗体を免疫測定法(イムノクロマト法)にて同時に検出する研究用試薬です。

抗体は全部で5種類存在し、感染症の診療には IgM と IgG が使用されます。IgM 抗体は病原体に感染した場合最初に作られる抗体で感染後1週間後経過したところから上昇し、2-3週間後に最高値となり、その後減少し、検出されなくなります。一方で IgG 抗体は IgM 抗体に遅れて増加し始め、IgM 抗体が消失した後も高い値を示す抗体です。どの程度の期間高い値を示すかは病原体により異なり、コロナウイルスに対する IgG の存在期間はまだはっきりわかっていません。

IgG が高い値を示している間はその病原体に感染しにくい状態となるため、IgG を維持するためにワクチンなどを定期的に接種することで IgG を維持し、感染予防を行っている疾患もあります。

10-15分程度で検査結果が検出され、IgM、IgG それぞれの陽性陰性が判明します。

結果	結果の解釈
IgM：陰性 IgG：陰性	過去の感染：可能性は低い 現在の感染：感染直後で反応していない可能性はある
IgM：陽性 IgG：陰性	過去の感染：可能性低い 現在の感染：可能性がある
IgM：陰性 IgG：陽性	過去に感染：可能性がある 現在の感染：可能性低い
IgM：陽性 IgG：陽性	過去の感染：可能性あり（感染後時間が経っている） 現在の感染：可能性がある

また外部委託でイムノアッセイ法を用いた血中の新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）の IgM 抗体を検出する検査も行っております。イムノクロマト法よりも検出精度が優れており、より正確な抗体の有無を調べることができます。

採血により血液を採取し、外部委託を行い、およそ3日間程度にて検査結果が判明します。

いずれの抗体検査も保険適応となっていないため、自費診療での検査となります。